

令和4年度全国学力・学習状況調査における幸田町児童生徒の結果について

令和4年12月

1 調査の概要（令和4年度実施分）

- (1) 調査期日 令和4年4月19日（火）
- (2) 対象学年・人数 小学校6年 489名、中学校3年 418名 ※悉皆方式
- (3) 調査項目
 - ① 教科 小学校：国語、算数、理科 中学校：国語、数学、理科
 - ② 学習・生活習慣等の状況調査（質問による）

2 幸田町全体の傾向について

(1) 教科の状況

本町児童生徒の傾向について、全国と比較をしました。

（全体の結果概要：小学校）

国語、算数については、全国とほぼ変わりません。理科については、努力を要する状況にあると言えます。

（全体の結果概要：中学校）

国語については、努力を要する状況にあると言えます。数学については、全国よりよくできています。理科については、全国とほぼ変わりません。

（中学校3年生生徒が小学校6年生であったときとの比較）

現中学校3年生が小学校6年生であった平成31年度と比較をしました。

小学校6年生であったときは、算数の領域「量と測定」「図形」がよくできている状況であり、国語の全ての領域において努力を要する状況でした。

その児童が中学校3年生となった今年度、国語においては、「話すこと・聞くこと」について努力を要する状況ですが、「読むこと」「書くこと」が全国とほぼ同等となっています。数学においては、「数と式」がとてもよくできており、それ以外の内容もできている状況でした。

小学校・中学校を通じて、子どもが力を伸ばしたことがわかりました。

（各教科の学習領域での結果）

全国の状況と比較し、各教科の学習内容で、「よくできていた内容」「課題がある内容」の主な内容を示します。

◎ たいへんよくできている内容 △ 努力を必要とする内容

【小学校6年生】

| | |
|----|---|
| 国語 | ◎必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える。 ◎漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く。 △文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 |
| 算数 | ◎被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる。 △示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。 △示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。 |
| 理科 | △日光は直進することを理解している。 △実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。 △自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。 |

【中学校3年生】

| | |
|----|---|
| 国語 | △自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。 △表現の技法について理解する。 △行書の特徴を理解する。 |
| 数学 | ◎自然数を素数の積で表すことができる。 ◎多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している。 ◎簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。 |
| 理科 | ◎化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる。 ◎モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる。 △力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。 |

(2) 学習・生活習慣等の状況（質問より）

学習・生活習慣（質問内容）と正答率との関係を分析しました。質問内容に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」とする回答率の高かったものに加え、全国と比較して回答率が高かったものを対象としました。その主な内容を示します。

- 質問内容と正答率の相関関係が見られたもの
- ・質問内容への回答率及び全国と比較して回答率が高かったもの

(小学校の学習・生活習慣等の状況と正答率について)

- ・朝食を毎日食べていますか
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンも含む）をしますか
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- ・友達と協力するのは楽しいと思いますか
- ・地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事の先生は除く）
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- ・国語の勉強は大切だと思いますか
- ・算数の勉強は好きですか
- ・算数の勉強は大切だと思いますか
- 算数の授業の内容はよく分かりますか
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

(中学校の学習・生活習慣等の状況と正答率について)

- ・朝食を毎日食べていますか
- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンも含む）をしますか
- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使ってSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- ・新聞を読んでいますか

- ・自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか
- ・地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事の先生は除く）
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・学習する中でPC/タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか

この分析より、「本町の子どもよさ」として次のような姿が浮かんできました。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎人の役に立ちたいと願う思いやりのある子ども ◎地域の人・こと・ものに対して積極的に関わっている子ども |
|--|

一方で、質問内容への回答率及び全国と比較して回答率が低かったものとして、次の点が小学校と中学校に共通して明らかとなりました。

- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
- ・困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいですか
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

3 調査結果を受けて

この結果は、幸田町全体の傾向であり、各学校によって結果や課題は異なっています。

幸田町全体としては、小学校では、まず、知識を日常生活に関連付けて理解し、問題を見いだす力を身につけることが必要だと考えます。中学校では、根拠を明確にするために必要な情報を引用して表現する力を高めることで、更に思考力・判断力・表現力を伸ばすことができると考えます。

幸田町教育委員会は、これまで通り、町全体の分析結果や指導改善のポイントを、文部科学省配付資料や愛知県教育委員会配付資料とあわせて各校に周知し、授業改善に活かせるようにしています。また、少人数指導や新しい学習指導要領を見据えた授業力向上のための研修など、環境整備も継続して進めていきます。

同時に各学校も結果を分析しています。そして、各学校の課題を明らかにし、子どもの実態に応じた授業改善を図っています。

家庭においては、子どもの学力の状況を知るとともに、普段の生活から見通しをもった取組や前向きな生活習慣の確立を図るなど、子どもが学習に対して意欲をもって取り組むことができるような励ましをお願いします。

| |
|--|
| <p>この調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語と算数・数学、理科について調査したものです。この調査で測定できるのは、学力の特定の一部です。子どもの学力や生活のすべてを表しているわけではありません。そのことを十分踏まえたうえで、調査結果を今後の指導に活かしていきたいと考えています。</p> |
|--|

問い合わせ先 幸田町教育委員会学校教育課 学校指導G

Tel 0564-62-1111 (内線423)